

■ 平成 28 年度 寒地土木研究所一般公開開催報告

国立研究開発法人 寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム
水産土木チーム

平成 28 年度寒地土木研究所の一般公開を 7 月 1 日（金）・2 日（土）の 2 日間にわたり開催しました。2 日（土）は降雨となり、あいにくの天気でしたが昨年を上回る 1,188 人のお客さまにご来場いただきました。今年も各研究チーム・研究ユニットが工夫を凝らした研究内容の紹介により、子供達だけでなく大人の皆様方にも、それぞれのコーナーで実験・体験・発見を楽しんでいただけました。

寒冷沿岸域チームでは『津波を知ろう！ ～高波・高潮との違い～』をテーマに、津波模型による体験水槽、小型水路による高波実験、色々なブロックで遊べるコーナー、本物の流水の展示、研究紹介の放映などを行いました。津波を発生させることのできる模型コーナーでは、子供達だけでなく、大人にも大盛況で、体験を通して津波についてより理解を深めていただきました。また、通常触れることのできない本物の流水を展示したコーナーでは貴重な体験ができたと大人気でした。さらに当研究チームで開発した津波による海水の破壊シミュレーションの放映に来場者は感心し、研究所をより身近に感じていただけました。

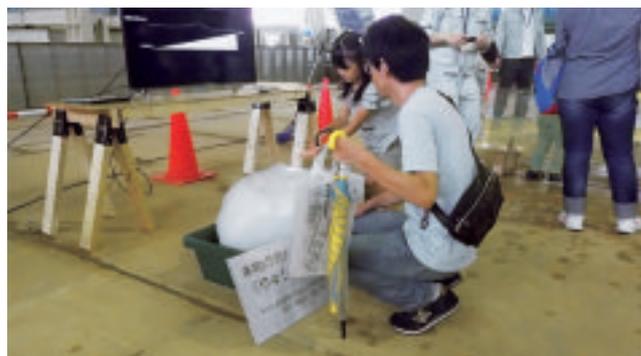


水産土木チームでは『さわって・見て・学ぼう「北の海の生きものたち！！」』と題して、ウニやナマコ、ホタテやホッキガイなど、北海道沿岸域に生息する海洋生物を集めたタッチプールを設けました。普段、生きた海洋生物に直接触れることが少ない子供達にとって貴重な経験であり大人気でした。さらに、アサリによる水質浄化の実演や港内の水質・底質の浄化が期待されるホタテ貝殻礁の展示、これまで行ってきた研究成果を取りまとめたビデオ放映を行いました。来場者の方々は展示物を興味深く見ていただき、理解を深めていただけました。

来年も多くの皆様のご来場をお待ちしております。



大盛況の津波を発生させることのできる模型コーナー



本物の流水に触れることのできるブースは大人気



水産土木チームの展示物を興味深く見る来場者たち



海洋生物を直接触れるブースは子供たちに大人気